

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社一之瀬製作所)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、福利厚生など、あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・就業規則にハラスメントを禁止する旨を明記している。 ・各部門長および総務部が相談窓口となっている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1		
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・長時間労働防止のため、社員の多能工化と年次有給休暇取得率向上を推進している。 ・責任者による労働時間管理が適正に行われ36協定が遵守されている。							8.5 8.8												
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・現在、外国人労働者はいない。日本国籍を取得し、新人教育に携わっている労働者はいるが、他社員と何ら変わることが無く平等であり、差別や人権侵害のないことを確認してある。				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3										
5	人権・労働	人権・労働			・「安全衛生年間計画書」に沿って労働環境の整備・点検に取り組んでいる。		3						8											
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・全社員がAIG損保の「メンタルケアサービス」を利用できる体制になっている。 ・年1回ストレスチェックを行い、必要に応じてカウンセリングを実施する体制を整備している。		3																	
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・多様な人材が活躍できるよう、定年後の継続雇用や短時間勤務希望を積極的に取り入れている。また、女性の雇用も促進し、老若男女が働ける職場環境を整備している。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3										
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・会社が推薦する資格について、取得のための休暇と費用を全面支援している。			4	5.5			8	9											
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本		【予定】	・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う。				5.5			8.5		10.2 10.3										
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・全社員が加入する保険(掛金会社負担)により、傷病保険金の受取、人間ドック・インフルエンザ予防接種費用補助、医療相談サービスなどが利用できる。		3					8												
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・産業廃棄物の種類・量などを把握し適切な保管をすると共に、処理会社の産廃の運搬・処分等に係る許可証を確認したうえで委託契約を締結している。												11.6	12.4		14.1				
12	環境	環境			・使用電力量はデマンド監視システムによる管理を行い、使用状況の把握と節電に努めている。							7.3								13				
13	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・照明のLED化を推進し、保有建物のLED化率は現在約98%。				7.2 7.3						12.4	13.3								
14	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減や、使用しないための取り組みを行っている。			3.9		6.3					11.6	12.4								

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
						1 1.1 Habitat	2 2.1 Food	3 3.1 Water	4 4.1 Industry	5 5.1 Innovation	6 6.1 Energy	7 7.1 Climate	8 8.1 Health	9 9.1 Education	10 10.1 Jobs	11 11.1 Industry	12 12.1 Innovation	13 13.1 Energy	14 14.1 Climate	15 15.1 Health
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している。								6.6						15	
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・工場の資源利用の削減と、廃棄物の適切な分別により再利用を促進している。												12.5	14.1		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・自社の水使用量を把握し、年間計画で使用量の削減を呼びかけ改善活動をしている。					6.4 6.6										
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ							3.9	6	7					12	13.3	14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ														12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	・グリーン電力等の使用について検討する。						7.2				13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・DX化を推進し、更なるペーパーレス化と、認証製品の利用を行っている。										12.2	13	14	15		
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則に汚職・贈収賄禁止を明記し、社内浸透を図っている。													16	16.5	
公正な事業慣行	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・経営方針の中で、お客様に信頼と期待をされるよう公正な経営を行うことを全社員に発信している。													16		
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・客先と機密保持契約を書面で交わし、知的財産保護に取り組んでいる。					8.2 8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・就業規則に個人情報の漏洩・持出しの厳禁を明記し、社内浸透を図っている。													16		
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・該当する可能性があるものについては、材料仕入商社に調査を依頼し、保証書・証明書にて確認している。													16		
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・サプライヤーとの面談の機会を定期的に設け、対話を通じ互いの認識の共有に努めている。			5	8	10	12	13	14	15	16	17				
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している		3				8	9	10						17	

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1 1.1 H&M	2 2.2 食事	3 3.3 資源循環	4 4.4 エネルギー	5 5.5 気候変動	6 6.6 水	7 7.7 農業	8 8.8 健康	9 9.9 教育	10 10.10 産業・创新	11 11.11 都市開発	12 12.12 平和・不偏	13 13.13 多様性	14 14.14 経済成長	15 15.15 社会	16 16.16 環境	17 17.17 行動		
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・製品使用時に想定されるリスクを洗い出し、技術会議等で対策を実施している。															3.9			12.4	
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・顧客の声を社内で共有するために、都度、担当部署から全部署に報告されている。														9					
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・開発時、部品の小型軽量化等を提案し、材料の使用量節約に努めている。 ・冷却液等に関し、環境負荷が小さい製品の採用に努めている。														6			12		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・生産活動で発生する廃棄物の量を削減し、かつ、可能な限り再活用できるよう努める。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			17	
社会貢献・地域資源	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・町会に加入し、近隣住人と挨拶・対話を積極的にするよう社員に指導している。													9	11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・「子供を守る安心の家」に登録し、看板の掲示と声掛けに努めている。 ・緑の募金に寄付を行い、森林の整備・緑化の推進に協力をしている。 ・ペットボトルのキャップを寄付し、ポリオワクチンに変えて発展途上国へ届ける活動に参加している。													4	11		14	15	17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			・社内イベント開催時には、地元産の米や食材を使用したものを調達するようしている。												8	9	11	12	13			
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営理念を明文化している。 ・経営者が、適時、経営理念及び経営目標を社員に説明し、共有している。												8	9					17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・経営理念にコンプライアンスの徹底が明示されている。 ・経営者が、適時、コンプライアンスの重要性を社員に発信している。																		16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・環境に及ぼす影響がある設備等については、担当者を任命し、適切な管理を行っている。																			16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している。																		16	
組織体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・職制会議等でリスクを顕在化させ、経営計画及び年度目標に展開している。																			16
	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考え方に基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・行政、教育、各種団体の呼びかけには積極的に参加している。 ・【予定】CSR方針の策定を検討する。																			16
	【事業継続】 ・事故や灾害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・BCP及び災害対策マニュアルは策定済であり、安否確認と避難訓練等を継続実施する。 ・関東経産局による事業継続力強化計画認定済。												9	11	13	13.1			16	
3	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			・後継者候補がいる。												8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定